

令和2年度 仙台市宮城野障害者福祉センター  
「市民防災の日」仙台市シェイクアウト訓練に参加しました。

令和2年6月12日（金）  
仙台市宮城野障害者福祉センター

令和2年6月12日（金）、「市民防災の日」仙台市シェイクアウト訓練に参加しました。当日は、職員と利用者19名が参加し、地震発生時に身を守るための身体保護訓練を実践しました。

また、当日は仙台市シェイクアウト訓練の他、仙台市防災行政用無線通信訓練、車椅子垂直避難訓練、福祉避難所開設訓練も実施しました。

宮城県沖地震から42年、東日本大震災から9年が経過し、記憶の風化が懸念されますが、今回「市民防災の日」仙台市シェイクアウト訓練に参加することで、改めて地震発生時にとるべき避難行動について再確認することができました。

車椅子垂直避難訓練では、地震だけでなく水害も想定し、1階と2階の往復移動訓練を行いました。参加者からは「車いすを運ぶ時に車いすのどこを持つのか分からなかったので、体験して良かった」との声が聞かれました。

また、福祉避難所開設訓練では、防災倉庫内の備蓄品の確認、自家発電機の取り扱い、福祉避難所開設を想定した備品の設置訓練を行いました。参加者からは、「なかなか防災倉庫内を確認する機会がないので、福祉避難所を開設する際に使用する物を確認でき、とても良い機会だった。」との声も聞かれました。

今回の訓練を通じて、有事に備えた訓練を継続的に実施していく事の重要性を改めて実感することができました。

今後も有事における準備意識の向上を図りつつ、安心で安全な施設サービスの提供と地域防災の発展に努力していきたいと思います。

